

社内木鶏クラブ

あなたの会社でも始めてみませんか?

『致知』を活用しながら学びの場を共有し、組織の活性化や人間的成長を目指している会社・組織が全国で増えています。「社員がともに『致知』を学ぶことで、社内がまとまり会社が成長してきた」と多くの経営者が語っています。このような「社内木鶏クラブ」に熱心に取り組んでいる会社・組織を、シリーズでご紹介していきます。

「社内木鶏クラブ」3つのメリット

- 1 社長の考えが理解できる
- 2 社風が良くなる
- 3 真の人間教育ができる



素晴らしい接客をするためには、一人ひとりの「人間性」を高めなければなりません。そこで全社員が参加できる「人間性」を高めるための勉強会を実施することにしました。

「社長の思い」
社内木鶏クラブを始めたきっかけ
サービス業は、人を相手にする仕事です。多様なお客様に対し、

一人ひとりの人間性を高めるために

●株式会社 金馬車

業種 サービス業
(パチンコ・フード・サウナ・ホテル)

代表者 社長 高濱正敏

創業年 昭和32年

資本金 4億3000万円

社員数 正社員272名 パート・アルバイト895名

住所 茨城県日立市幸町2丁目1番10号

TEL 0294-24-0211

FAX 0294-21-0445

ホームページ <http://www.kinbasha.net>



●開催状況

●二段階に分け、各エリアを担当するリーダーによる「木鶏リーダー会」後、エリアごとに「木鶏クラブ」を開催。

●各「木鶏クラブ」では、リーダーの役割が重要です。そのため、リーダーに対しては社長自らが「木鶏リーダー会」を主宰し、ポイントや運営方法について指導しています。

●「木鶏リーダー会」…リーダー二十数名を三グループに分けて実施。社長が進行役と講評を行います。

●「木鶏クラブ」…店長四グループ、本社スタッフ四グループ、店舗スタッフ十三グループに分けています。「木鶏リーダー会」に参加したリーダーが進行役と講評を行います。

●社長が課題記事を二つ選定し、事前に連絡します。各自

は自宅に届く『致知』を通読し、その感想を所定のフォーマットにまとめ、当日は発表して意見交換をします。終了後は議事録をまとめて社長に提出します。

●毎月一回、十八時から二十時(就業時間後)に実施。

●参加者——原則全社員。

●社員の感想(順不同)

●田野辺瞳さん
(二十三歳)



様々な世代の方と一緒に同じ議題について考え、意見を交換できるこの場合は、社会人一年目の私にとって大変貴重です。今後の社会人人生をどう生きていくか、改めて考えさせられる良いきっかけとなっております。

●山岸弘治さん
(三十一歳)



店長として迷いや不安がある中『致知』と出合い、勉強会

で自分の狭い世界が大きく広がりが、いろいろな視点で物事を謙虚に捉えられるようになりました。現在は自信を持って、従業員への教育・指導にあたる事ができていると実感できます。

●木本映右さん
(五十八歳)



毎回新鮮な感動を覚えています。各営業店からの参加社員は、普段話す機会のない方ばかりですが、同じテーマについて語り合うことで、考え方や感じ方、人柄を理解す

る良い機会になっています。

●富田智志さん
(二十六歳)



職位や勤務地に関係なく、様々な人の感想が聞けることで、ものの見方・考え方は実に人それぞれで多様であることを学びました。これまで部下の話や意見を十分に聞いていなかったことを痛感・反省し、今後に生かしていこうと思います。

●継続の秘訣

●サービス業のため基本的に年中無休なので、なるべく多くの人が参加できるように、細かくスケジューリングします。

●他人の批評・批判、誹謗中傷は絶対に行わず、楽しい雰囲気をつくっています。

●全員の感想や各木鶏クラブの状況がわかるように、議事録をWEB上に載せ閲覧可能にしています。

・社内木鶏クラブを始めてみたいとお考えの方は、致知出版社までお問い合わせください。
・弊社ホームページにて動画で社内木鶏クラブの様子をご覧いただけます。
・アンケートハガキを送付された方全員に、好評小冊子「社内木鶏クラブの作り方」を進呈します。

